

知床を愛する男 “世界の川端隆” が語る

厳冬期の知床半島 踏破の軌跡

◇日時：5月22日（日）17：30-18：30

◇場所：羅臼ビジターセンター
（羅臼町湯ノ沢町6-27）

今から47年前の昭和44年2月23日、当時は役場職員だった川端 隆氏(当時31歳)と、その友人でもあり写真家として活動していた中町 保正氏(当時33歳)は知床半島東海岸に位置する羅臼町を出発。

知床半島の周りに押し寄せた流氷の上を18日間かけて徒歩で踏破するという偉大な挑戦を成し遂げられました。

『必ず生きて帰る』家族との誓いを守り抜き、今でも褪せることのない知床への思いをお話し頂きます。



厳冬期には、流氷によって船も航行できない知床半島先端部。数々の挑戦者を拒んできた厳しい環境のこの地へ、命を懸けて挑んだ川端氏から語られる挑戦の記録は、人々の胸に必ず何かを残すでしょう。

若い世代からの熱い要望により実現した今回のイベントは、貴重な写真とともに目頭の熱くなるような感動の実話や、笑い話をふんだんに盛り込んだ内容となっております。

またとない貴重なこの機会をお聞き逃しなく！参加無料です。是非お集まりください！

お問合せ：(一社)知床羅臼町観光協会（羅臼町本町361-1）

羅臼町地域おこし協力隊 阪田 TEL:(0153)87-3360

協力：環境省、(財)知床財団